



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月31日

上場会社名 株式会社エイジス 上場取引所 東
コード番号 4659 URL <https://www.ajis.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 福田 久也
問合せ先責任者（役職名） 財務会計部長（氏名） 西本 敬（TEL）043-350-0567
半期報告書提出予定日 2025年11月10日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	17,204	7.4	1,334	3.2	1,391	2.9	826	7.1
2025年3月期中間期	16,011	23.0	1,292	44.6	1,353	43.1	771	21.9

（注）包括利益 2026年3月期中間期 862百万円（△9.2%） 2025年3月期中間期 949百万円（29.1%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	97.97	—
2025年3月期中間期	91.52	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	30,322	25,164	82.8
2025年3月期	30,731	25,083	81.4

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 25,105百万円 2025年3月期 25,029百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	95.00	95.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	95.00	95.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	37,000	8.9	2,350	△22.5	2,512	△19.9	2,070	△1.6

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理) をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年3月期中間期	10,771,200株	2025年3月期	10,771,200株
2026年3月期中間期	2,331,091株	2025年3月期	2,337,436株
2026年3月期中間期	8,435,554株	2025年3月期中間期	8,428,153株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理)	9
(セグメント情報等)	10
(企業結合等関係)	11
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2025年4月1日から2025年9月30日)におけるわが国経済は、個人所得や雇用環境の改善、インバウンド需要の増加により、景気は緩やかな回復基調が続いている一方、長く続く物価高による消費マインドの停滞、不安定な国際情勢による資源価格および原材料価格の高騰など、依然として景気の先行き是不透明な状況が続いております。

当社グループの主要顧客であります流通小売業界におきましては、物価高騰に起因した商品価格の上昇に伴う個人消費マインド低迷の影響を受けるとともに、人件費や光熱費、物流費などの店舗運営コストの増加、業種・業態を超えた価格競争の激化といった経営課題も継続し、業界を取り巻く環境は引き続き厳しさを増しております。

このような状況のもと、当社グループは「チェーンストアの発展と豊かな社会の実現に貢献する」という企業理念に基づき、株主をはじめとするステークホルダーの皆さま、そして社会にとってより魅力的な企業であり続けるために、「サービスプロバイダーからソリューションプロバイダーへ」「メーカーと小売業と消費者をつなぐ唯一無二の存在へ」を実現し社会的価値を向上すべく、中期経営計画「vision50」(2025年3月期(第48期)から2029年3月期(第52期)まで)を策定し、これらを実現するために事業活動に取り組んでまいりました。

これらの結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高17,204百万円(前年同期比7.4%増)、営業利益1,334百万円(前年同期比3.2%増)、経常利益1,391百万円(前年同期比2.9%増)、親会社株主に帰属する中間純利益826百万円(前年同期比7.1%増)となりました。

セグメントごとの業績は、以下のとおりであります。

I リテイルサポート事業

売上高は、国内棚卸サービス、集中補充サービスおよびマーチャンダイジングサービスにおいて、主要顧客からの受注店舗数の増加、また2025年9月1日に実行したパースルマーケティング株式会社の事業譲受に伴う顧客承継により増加しました。

営業利益は、株式会社エイジス本社ビルの売却に伴う早期償却やデジタル投資などの一般管理費の増加による利益減少要因はありましたが、集中補充サービスおよびマーチャンダイジングサービスの生産性向上により増益となりました。

売上高は12,955百万円(前年同期比8.0%増)、セグメント利益は1,340百万円(前年同期比7.1%増)となりました。

II マーケティング事業

売上高は、リアルマーケティングソリューションサービスの新規受注、主要顧客からの受注増加などにより増収となりました。

営業利益は、成長セグメントとして本事業に対する積極的な人材交流や人員の増強を推進したことにより人件費ならびに販売費及び一般管理費が増加し減益となりました。

売上高は2,843百万円(前年同期比11.2%増)、セグメント損失は3百万円(前年同期は27百万円のセグメント利益計上)となりました。

III 国際事業

売上高は、東アジア地区における主要顧客の業績不振による取引縮小などにより減少しました。

営業利益は、アセアン地区での実施条件の見直しなどによる利益増加要因はありましたが、東アジア地区での実施店舗数減少の影響や、人件費および事業活動に伴う移動経費の増加などにより減益となりました。

売上高は1,405百万円(前年同期比3.7%減)、セグメント損失は11百万円(前年同期は8百万円のセグメント利益計上)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は30,322百万円(前連結会計年度比1.3%減)となりました。これは主に、事業譲受によるのれんの増加や、次世代基幹システムに係るソフトウェアなどを含む無形固定資産のその他が増加したものの、事業譲受に係る対価の支払い等により現金及び預金が増加したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は5,158百万円(前連結会計年度比8.7%減)となりました。これは主に、未払金等が増加したものの、未払法人税等および流動負債のその他に含む未払消費税等が増加したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は25,164百万円(前連結会計年度比0.3%増)となりました。これは主に、為替換算調整勘定が減少したものの、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、12,217百万円(前年同期比1,934百万円減)となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間において営業活動の結果、獲得した資金は419百万円(前年同期比65.8%減)であります。これは主に、収入要因として税金等調整前中間純利益1,315百万円、支出要因として法人税等の支払額637百万円、売上債権の増加額379百万円等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間において投資活動の結果、使用した資金は3,058百万円(前年同期は57百万円の使用)であります。これは主に、事業譲受による支出2,198百万円および次世代基幹システムに係る無形固定資産の取得による支出744百万円によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間において財務活動の結果、使用した資金は803百万円(前年同期比15.5%増)であります。これは主に、配当金の支払額801百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績経過は、予想を上回る結果となっておりますが、現時点での通期業績予測につきましては、2025年5月15日に発表いたしました「2025年3月期決算短信」に記載の業績予測と変更はありません。当中間連結会計期間における業績経過の詳細につきましては、2025年10月31日公表の「2026年3月期第2四半期(中間期)業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,972,506	12,527,650
受取手形、売掛金及び契約資産	5,102,669	5,433,543
有価証券	299,764	299,519
貯蔵品	33,956	32,256
その他	383,442	465,458
流動資産合計	21,792,339	18,758,428
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,276,014	1,276,014
その他(純額)	505,228	463,549
有形固定資産合計	1,781,243	1,739,564
無形固定資産		
のれん	1,433,012	2,763,255
顧客関連資産	482,496	445,381
その他	1,470,052	2,104,616
無形固定資産合計	3,385,561	5,313,253
投資その他の資産		
投資有価証券	3,284,278	3,343,357
その他	492,376	1,171,957
貸倒引当金	△4,000	△4,000
投資その他の資産合計	3,772,654	4,511,314
固定資産合計	8,939,459	11,564,132
資産合計	30,731,799	30,322,561
負債の部		
流動負債		
短期借入金	170,301	166,492
未払金	2,895,128	2,982,010
未払法人税等	692,175	552,341
賞与引当金	546,576	543,689
役員賞与引当金	6,024	2,607
事務所退去費用引当金	-	26,666
その他	1,151,245	715,870
流動負債合計	5,461,451	4,989,679
固定負債		
退職給付に係る負債	8,607	9,629
その他	178,040	159,178
固定負債合計	186,647	168,808
負債合計	5,648,099	5,158,488

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,000	475,000
資本剰余金	479,301	485,121
利益剰余金	27,415,611	27,440,850
自己株式	△3,697,227	△3,687,225
株主資本合計	24,672,685	24,713,746
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	123,446	234,147
為替換算調整勘定	233,629	157,551
その他の包括利益累計額合計	357,075	391,698
非支配株主持分	53,939	58,627
純資産合計	25,083,700	25,164,073
負債純資産合計	30,731,799	30,322,561

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

	(単位：千円)	
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	16,011,816	17,204,207
売上原価	11,964,371	12,952,511
売上総利益	4,047,445	4,251,696
販売費及び一般管理費	2,754,650	2,917,250
営業利益	1,292,794	1,334,446
営業外収益		
受取利息	33,145	40,206
受取配当金	4,428	5,763
受取賃貸料	13,114	13,383
業務受託料	8,952	8,667
為替差益	8,754	-
その他	14,814	16,089
営業外収益合計	83,209	84,110
営業外費用		
支払利息	2,173	2,316
為替差損	-	6,943
貸倒引当金繰入額	4,000	-
賃貸費用	6,020	5,678
業務受託費用	8,504	8,234
その他	2,019	3,424
営業外費用合計	22,717	26,596
経常利益	1,353,286	1,391,960
特別利益		
固定資産売却益	-	1,155
投資有価証券売却益	-	5
特別利益合計	-	1,161
特別損失		
固定資産売却損	-	5
減損損失	-	35,767
固定資産除却損	3,073	10,503
事務所退去費用引当金繰入額	-	31,700
特別損失合計	3,073	77,976
税金等調整前中間純利益	1,350,213	1,315,145
法人税等	576,366	487,304
中間純利益	773,846	827,841
非支配株主に帰属する中間純利益	2,505	1,393
親会社株主に帰属する中間純利益	771,341	826,447

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)		
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	773,846	827,841
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,344	110,701
為替換算調整勘定	163,702	△76,081
その他の包括利益合計	176,047	34,619
中間包括利益	949,894	862,460
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	947,389	861,070
非支配株主に係る中間包括利益	2,505	1,390

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,350,213	1,315,145
減価償却費	115,596	206,740
減損損失	-	35,767
のれん償却額	120,703	141,380
顧客関連資産償却費	37,115	37,115
賞与引当金の増減額(△は減少)	44,542	2,095
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,835	△3,504
事務所退去費用引当金の増減額(△は減少)	-	26,666
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	498	1,317
受取利息及び受取配当金	△37,574	△45,970
支払利息	2,173	2,316
固定資産除却損	3,073	10,503
売上債権の増減額(△は増加)	445,250	△379,802
未払金の増減額(△は減少)	△318,999	145,532
未払消費税等の増減額(△は減少)	△90,466	△359,361
その他	△286,410	△126,829
小計	1,382,879	1,009,111
利息及び配当金の受取額	47,831	49,345
利息の支払額	△1,343	△2,244
法人税等の支払額	△205,356	△637,210
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,224,011	419,002
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	100,000	100,000
定期預金の預入による支出	△5,628	△58,352
定期預金の払戻による収入	283,144	-
有形固定資産の取得による支出	△167,581	△150,433
有形固定資産の売却による収入	5,980	2,265
無形固定資産の取得による支出	△368,590	△744,046
投資有価証券の売却による収入	-	1,186
投資有価証券の償還による収入	100,000	-
差入保証金の差入による支出	△10,192	△23,509
差入保証金の回収による収入	9,770	14,021
事業譲受による支出	-	△2,198,471
その他	△4,010	△1,053
投資活動によるキャッシュ・フロー	△57,107	△3,058,394
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	21,074	△1,851
自己株式の取得による支出	-	△99
配当金の支払額	△716,200	△801,207
財務活動によるキャッシュ・フロー	△695,125	△803,158
現金及び現金同等物に係る換算差額	126,844	△60,835
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	598,622	△3,503,385
現金及び現金同等物の期首残高	13,553,216	15,721,086
現金及び現金同等物の中間期末残高	14,151,838	12,217,701

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	リテイルサポート事業	マーケティング事業	国際事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	11,994,899	2,558,195	1,458,721	16,011,816
セグメント間の内部売上高又は振替高	43,557	3,150	—	46,707
計	12,038,456	2,561,345	1,458,721	16,058,523
セグメント利益	1,252,117	27,296	8,935	1,288,348

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,288,348
セグメント間取引消去	4,445
中間連結損益計算書の営業利益	1,292,794

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	リテイルサポート事業	マーケティング事業	国際事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	12,955,567	2,843,588	1,405,052	17,204,207
セグメント間の内部売上高又は振替高	47,572	690	—	48,262
計	13,003,140	2,844,278	1,405,052	17,252,470
セグメント利益又は損失(△)	1,340,820	△3,023	△11,144	1,326,653

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,326,653
セグメント間取引消去	7,793
中間連結損益計算書の営業利益	1,334,446

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(のれんの金額の重要な変動)

「リテイルサポート事業」および「マーケティング事業」において、パーソルマーケティング株式会社からの事業譲受により、のれんが増加しております。当該事象によるのれんの増加額は、当中間連結会計期間において、

「リテイルサポート事業」においては1,472,034千円、「マーケティング事業」においては35,767千円であります。

なお、「マーケティング事業」におけるのれんの金額は、回収可能性を検討した結果、当中間連結会計期間において減損損失として計上しております。

(企業結合等関係)

(事業の譲受)

当社は、2025年3月31日開催の取締役会において、パーソルマーケティング株式会社(以下「PMK社」といいます。)の棚卸事業、リテール事業、軽作業およびそれらに付随する事業を譲り受けることを決議し、同日付でPMK社との間で事業譲渡契約を締結し、当契約に基づき2025年9月1日付で当該事業を譲り受けております。

なお、本事業譲受に際して当該事業は、PMK社より当社ならびに当社の連結子会社であるエイジスマーチャンダイジングサービス株式会社および株式会社mitorizに承継されております。

1. 事業譲受の概要

(1) 事業譲受の概要

相手先企業の名称 : パーソルマーケティング株式会社

譲り受けた事業の内容 : 棚卸事業、リテール事業、軽作業およびそれらに付随する事業

(2) 事業譲受の目的

当社グループは「チェーンストアの発展と豊かな社会の実現に貢献する」という企業理念に基づき、リテイルサポート事業およびマーケティング事業ならびに国際事業を行っております。

PMK社が運営する棚卸事業、リテール事業、軽作業事業およびそれらに付随する事業を譲り受けることにより、当社グループにおけるリテイルサポート事業の拡大を企図し、本事業を譲受することといたしました。

(3) 事業譲受日 2025年9月1日

(4) 事業開始日 2025年9月1日

(5) 事業譲受の法的形式 現金を対価とする事業譲受

2. 中間連結会計期間に係る中間連結損益計算書に含まれる取得した事業の業績の期間

2025年9月1日から2025年9月30日まで

3. 取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	2,198,471千円
-------	----	-------------

取得原価	2,198,471千円
------	-------------

4. 主要な取得関連費用の内容

デューデリジェンス費用等 14,595千円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額 1,507,801千円

なお、のれんの金額は、当中間連結会計期間末において企業結合日における識別可能な資産および負債の特定ならびに時価の算定が未了であり、取得原価の配分が完了していないため、その時点で入手可能な合理的情報に基づき暫定的な会計処理を行っております。

(2) 発生原因 主に、今後の事業展開から期待される将来の超過収益力によるものであります。

(3) 償却方法及び償却期間 5年間にわたる均等償却を行っております。

6. 事業譲受日に受け入れた資産及びその主な内訳

固定資産 41,858千円

資産合計 41,858千円

7. 事業譲受が事業年度の開始の日に完了したと仮定した場合の当中間連結会計期間の損益計算書に及ぼす

影響の概算額及びその算定方法

当中間連結会計期間における概算額の算定が困難であるため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

以 上